

報告事項才

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について、別紙のとおり報告します。

平成29年3月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について

平成29年3月18日
小中学校課
県教育センター

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査について

(1) 本体調査

- ◇調査実施日 平成29年4月18日（火）
- ◇調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年
- ◇調査内容
 - ①教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
 - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査
- ◇調査方式 全数（悉皆）調査方式で実施（参照：資料1）
→実施学校数等は資料2のとおり

(2) 保護者に対する調査

- ◇調査実施日 平成29年5月8日（月）から5月29日（月）の期間のうち、調査の対象となった学校が実施可能な期間
- ◇調査対象 無作為に抽出された公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者
- ◇調査内容 家庭状況と児童生徒の学力等の関係について分析するために、児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等に関する調査を実施する。

(3) その他（参考）

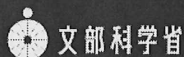
<平成30年度予定>

- ・調査日：平成30年4月17日（火）
- ・全数（悉皆）調査方式で実施予定（国語、算数・数学、理科）
- ・平成31年度に実施予定の中学校における英語調査に向けた予備調査を抽出方式で実施予定

3 県独自の抽出分析調査について

対象児童・生徒が抽出したデータを基に、いち早く本県の傾向を分析し、年度の早い段階で抽出調査結果として提示することで、県内における児童生徒の学力状況をもとに、各学校での早期の指導改善・授業改善を図ることを目的として実施する。

抽出分析調査結果については、各学校へ提供するとともに、県教育委員会HPに掲載する予定である。



平成29年度 全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

✕ 本体調査

調査実施日：4月18日（火）

- 調査の目的**
- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
 - ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
 - ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年，中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

①教科に関する調査（国語，算数・数学）

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none"> •身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 •実生活において不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> •知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 •様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 <p style="text-align: right;">など</p>

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか，授業の内容はどの程度分かりますか，一日にテレビ等を見る時間，携帯電話等の使用時間，読書時間，勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組，指導方法の工夫，教育の情報化，教員研修，家庭・地域との連携の状況 など

時間割

○小学校（児童質問紙は，3時限目終了後以降に，各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	
国語A（20分），算数A（20分）	国語B（40分）	算数B（40分）	児童質問紙（20～40分程度）

○中学校（生徒質問紙は，4時限目終了後以降に，各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	
国語A（45分）	国語B（45分）	数学A（45分）	数学B（45分）	生徒質問紙（20～45分程度）

（参照：文部科学省HP）http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

問題例：平成28年度全国学力・学習状況調査より

全問題については、(http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html) を参照。

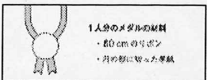
小学校・算数B
(平成28年度)

日常生活の事象の数学的な解釈と根拠の説明(メダルづくり)

3

とみさん5人の学校では、小学校に入学する前の子どもを招待して学習機会を行います。とみさんは、24人集まっています。学習機会では、最も手元の子どもを全員、メダルを分けてあげたいと考えています。

1人分のメダルの材料は、次のとおりです。



とみは2000cmのリボンで、幅が39cm、縦が54cmの長方形の布紙を用意しています。とみさん、はるおさん、あかねさんの3人は、リボンと布紙が足りるかどうかについて考えています。

(1) 24人分のメダルの材料として、とみさん2000cmで足りるかどうか、3人はそれぞれ別の式で考えています。

とみさん $60 \times 24 = 1440$

はるおさん $2000 - 80 = 1920$

あかねさん $2000 \div 24 = 83.3 \dots$

とみさん、はるおさん、あかねさん $2000 \div 24$ は足りません。

この3人の式は、それぞれ何を調べるための式ですか。下の1から3までの中から1つずつ選んで、それぞれ理由を書きましよう。

- 1 与えられたリボンから、1人分のリボンを取り除くことができるか
- 2 与えられたリボンから、1人あたり何cm取り除くことができるか
- 3 全員分のリボンを集めるのに必要な長さは何cmか

●出題の趣旨

示された乗法や除法の式の意味を解釈することができるかどうかをみる。

●正答

とみさん 3
はるおさん 1
あかねさん 2

(正答率 62.7%)

中学校・国語B
(平成28年度)

情報を読む(漆)

「伝統文化」といって思い浮かべられるものは、何でしょうか。漆は今の暮らしの中で身近な存在になっています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を開催します。私たちの暮らしの中に漆の文化の姿を感じてみましょう。

うるしの世界

約60年かけてつくられた漆器は、歴史が古く、丈夫で美しい。また、漆の香りが大気汚染を防ぎます。漆の香りが大気汚染を防ぎます。漆の香りが大気汚染を防ぎます。

展示内容(開催期間)

展示内容(開催期間)

イベント

～漆器展覧会～
漆器展覧会
漆器展覧会

～漆の体験～
漆の体験
漆の体験

5月21日(土)～6月19日(日)

開催期間：全期全日9時～17時
休館日：休館日
入館料：一般300円、小学生、中学生は200円
中学生以下無料

第1期：5月21日(土)～6月19日(日)
第2期：7月1日(土)～7月31日(日)
第3期：8月1日(土)～8月31日(日)

栃木市立博物館
〒320-0292 栃木市
電話：0282-223-0000
http://www.tokushimashi-museum.ac.jp

●出題の趣旨

文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。

●正答例

- ・ 表は、日付を大きく示していて、開催期間が把握しやすい。裏は、「……ませんか」と呼びかける表現を用いていて、親しみがわかりやすい。(64字)
- ・ 表は、器のイラストの中に文字が書いてあり、タイトルの印象が強い。裏は、展示内容や関連イベントという項目が設けてあり、伝統文化展の第一期の全体像がよく分かる。(79字)
- ・ 表は、大きな器があり目を引きやすい。裏は、図があり室内の順路がわかりやすくなっている。(44字)

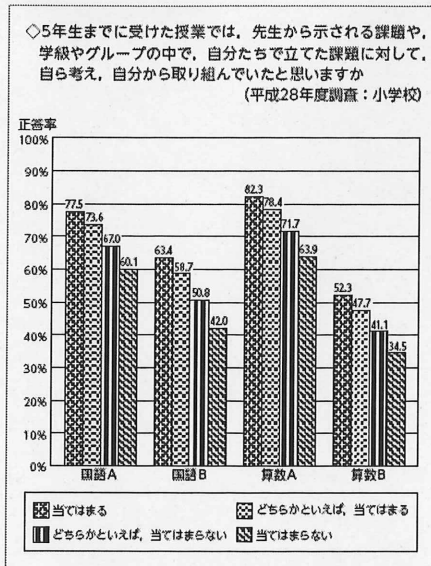
(正答率 68.4%)

調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の関係进行分析、公表

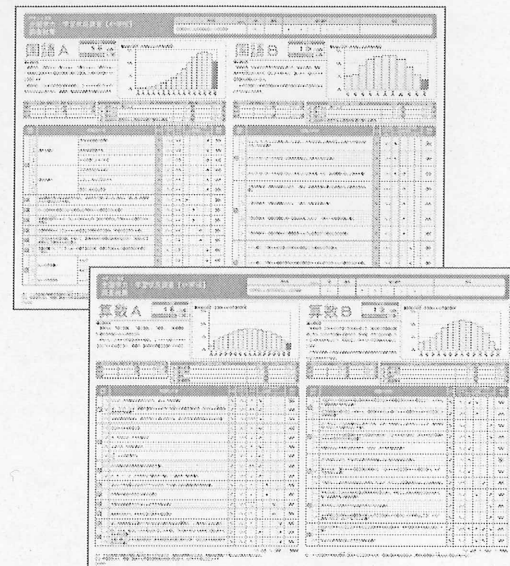
▼公表する調査結果の例



提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - 児童生徒の正答数分布図
 - 設問別正答率・無解答率、類型別解答状況
 - 質問紙調査の結果
 - 各児童生徒に提供する「個人票」 など

▼「個人票」のイメージ



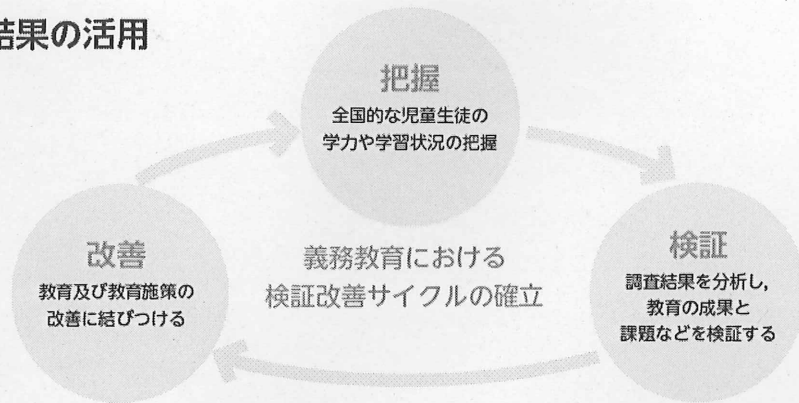
保護者に対する調査

調査の目的 家庭状況と児童生徒の学力等の関係について分析するために、児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等に関する調査を実施する。

調査対象 無作為に抽出された公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者
全国で小学校 1200 校程度、中学校 800 校程度を無作為に抽出

調査実施日 平成29年5月の期間中、調査の対象となった学校が実施可能な期間

調査結果の活用



国	教育の改善に向けた全国的な取組を推進	(例) 学習指導要領の改訂, 各種施策の検証・改善, 教員の配置等への支援, 教育委員会や学校における改善の取組への支援 など
教育委員会	域内の教育の改善に向けた取組を推進	(例) 教員の配置等の工夫, 教員研修の充実, 教育指導等の改善のための資料の作成, 保護者や地域と連携した取組 など
学校	個々の児童生徒の課題に応じた教育指導の改善に向けた取組を推進	(例) 課題を踏まえた授業改善の取組, 校内研修の充実, 家庭における学習習慣や生活習慣の確立に関する保護者への働きかけ, 放課後等における補充学習の実施 など

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

■全国学力・学習状況調査解説資料

調査の実施後, 各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況, 課題等を把握するとともに, それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したものを。

■全国学力・学習状況調査報告書

調査結果を公表するとともに, 調査結果を踏まえて学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成したものを。各問題について, 解答類型と反応率, 分析結果と課題, 学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述。

■授業アイデア例

各学校において, 今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため, 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて, 授業の改善・充実を図る際の参考となるよう, 授業のアイデアの一例を示すもの。

■全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ

平成19～22年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析し, とりまとめた資料。

(概要)

- 各教科の領域等ごとに, 児童生徒の「成果」と「課題」を整理
- 特に「課題」については, 児童生徒一人一人の学習内容の着実な定着を目指して, その解決に向けた詳細な分析を行い, 学習指導の改善・充実の参考となるポイント等を記載

■全国学力・学習状況調査の結果を活用した実践研究の成果報告書

調査結果から明らかになった課題に対して, 教育委員会, 学校等が連携しながら学校の教育活動等の改善に取り組んだ実践研究の概略等を掲載した報告書。

■全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会, 学校等の教育活動や, 教育施策の一層の改善を図るため, 大学等の研究機関の専門的な知見を活用し, 高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

(分析例)

- 家庭の社会的背景と学力の関係に関する調査研究
- 良好な結果を示した教育委員会・学校における教育施策・教育指導等の特徴に関する調査研究

これらの資料は,
文部科学省 HP
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm
国立教育政策研究所 HP
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>
に掲載されています。

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施予定について

平成 29 年 4 月 18 日に実施される平成 29 年度全国学力・学習状況調査（全数調査）の鳥取県内公立学校の実施予定校数と児童生徒数です。※公立学校のみ

【学校数】

	調査対象校	実施予定校	実施率
小学校(6年)	125校	125校	100%
中学校(3年)	59校 ※分校2校含む	59校 ※分校2校含む	100%
特別支援学校	6校 ※小：3校 ※中：3校	6校 ※小：3校 ※中：3校	100%
合 計	190校	190校	100%

※隼小学校、大江小学校の2校が船岡小学校に統合、丹比小学校、安部小学校の2校が八東小学校に統合されるため、小学校の学校数が4校減

【児童生徒数】

(人)

	参加人数
小学校(6年)	約4,900
中学校(3年)	約4,900
合 計	約9,800

※平成 28 年度「学校便覧」の小学校 5 年生の児童数及び中学校 2 年生の生徒数を参照